

□第15回大津市中心市街地活性化協議会 議事録

日 時： 平成22年9月6日（火） 午後3時00分～午後4時40分

場 所： 大津市旧大津公会堂2階 会議室①・②

参加者： 委 員 石川、遠藤、尼田、宮崎、山田、磯村、別所、林、（代）河原
北嶋、戸田、山口、柴山、勝部、中井、福井、白井、井上
高田、山本、松崎
オブザーバー 山本、徳永、加藤
事務局 元田、山下、伊勢村
大津市 福井、前田、田山

（順不同・敬称略）

1. 開会（まちづくり大津・事務局）

2. あいさつ（石川副会長）

3. 報告

（1）拠点施設の状況報告

①なぎさのテラス、湖の駅、旧大津公会堂の報告（元田、山下）

（2）各プロジェクトの実施状況及び今後の取組みについて

①町家利活用プロジェクトの報告（白井、柴山）

②おもてなし創造発信プロジェクトの報告（福井、山本）

③げんき印の灯りの報告（山下）

④びわ湖大津秋の音楽祭（井上）

⑤大津ジャズフェスティバル（勝部）

（3）大津100円商店街の開催について

①大津100円商店街の開催の報告（徳永）

（4）その他

①ハワイアンフェスティバル2011 in 大津の報告

東北支援日本ツアー2011「心をひとつに」（松崎）

<意見交換>

- ・Swing kids 達の演奏開始時間はいつなのか
- ・大津祭の宵山を見せてあげたいので、15時から演奏開始をする予定である。
- ・どういった関係で来るのか
- ・演奏の指導者が日本人で龍谷大学の教授と知り合いでその関係で日本で演奏をすることになり世界ツアーをするなかで日本にも来てもらえるようになった。

- ・各プロジェクト実施状況は素晴らしくこのまま定着すればいいとは思うのだが、**中心市街地活性化の有効期間**があと2年となり今後どのような方向にもっていくかの戦略を考えなければならないのではないか
- ・報告だけしかないのは少し寂しいのではないか、あと2年間の戦略の描き方を考えなければならないのではないか
- ・プロジェクトを実行した後のレビューがないのではないか、まず実行してその後レビューを行い続行か新規プロジェクトかの可否の判断をして、そして実行しレビューを繰り返していくべきではないか
 考えて行動しなければならない、理論ではなく現実に即した顧客が考えていることを取り込んでいきプロジェクトに反映するべきではないか
- ・委員会のメンバーが自分の目でプロジェクトに参加して感じたことや意見をまとめなければ前進しないのではないか
- ・基本計画を踏まえた上で将来を見据えた戦略を練っていく必要があるのではないか
 基本計画を色々な場所で実行していくムーブメントが不足しているのではないか
- ・分かり易く言えば空いている土地建物を埋めていくことではないか、それが十分にできていないのではないか
 単に店を作るだけではなく町中に住むのもいいし福祉でもいいし当初外国からの観光客の滞在するプランもあったのではないか
 3月に広範囲には出来ないので東海道を中心にしていくと決まったのではないか
 新規プロジェクトが出てこない今日の協議会としては半分しか機能していないのではないか
 2～3年で街の空洞化をどう埋めていくかを考えていかなければならないのではないか
- ・点を線に面にしていきたいがなかなか上手くいかないが、線のきっかけになりそうなのが100円商店街ではないか
 こういったイベントを続ける事が活性化に繋がるのではないか
- ・ワーキンググループを設置するべきではないか
 そういったものがないからプロジェクトが出てこないのではないか
- ・協議会の下部組織を作ってそこで案を作成してこの場で議論すべきではないか
- ・元田事務局長がリーダーシップを発揮してプロジェクトを推進してもらうべきではないか
- ・戦略や戦術を考え残りの2年間どう終わらせるか、また続けるならどういった方向にするか非公式ですが相談しています。
 ワーキンググループも含めて今後の戦略を考えていきたい。

(1)次回(第16回)の日程調整

平成24年3月下旬 15:00～

事務局より後日日程をお知らせします。

5. 閉会